

サロンのあべの

VOL.157

乙武洋匡著「五体不満足」の 大ベストセラーに見る障害者観

サロン・あべの6月の出会い

99年6月19日(土)、午後1時から、育徳コミュニケーションセンター2階研修室において、(サロン・あべの)6月の出会いを開催しました。

今回は、異例とも思える大ベストセラーを記録中の本「五体不満足」と、その著者である乙武洋匡なほひろたさんを中心、参加者全員によるフリートークを展開しました。

少し早い自伝(?)

乙武洋匡さん(以下、「彼」と表現します。)は、昭和51年4月生れの23歳。先天性四肢切

断という障害のため、生まれつき手足がありません。しかし、両親の愛情と周囲の理解に恵まれながら成長していきます。

彼は、目立ちたがり屋で、負けず嫌い。どこまでも明るく、前向きな性格です。多くの障害者が、成長するにつれ我慢することを覚えてしまうのに対し、彼は、自分の意思を頑固に貫き通します。

「五体不満足」(以下、「この本」と表現します。)には、そんな彼が生まれてから、現在の大学生活までのエピソードが綴られています。

この本を読んだほとんどの人が、彼の明るさと前向きさに感動しています。それは、障害の有無を越えて、現代の若者としての彼の姿に、感動をしているのです。その反面、あまりにも環境に恵まれ過ぎていて、参考にならない。誰もが彼のようになれるわけではない。彼のような生き方、考え方を強要されてはたまらない。などの批判も出ています。

また、この本の奇抜なタイトルと表紙の写真、書店に流されるテープなど、考え抜かれた、マーケティング戦略も見逃せません。つまり、この本は、福祉関係者や障害者のために書かれ

賞賛と批判

※※※ お知らせ ※※※

<サロン・あべの> 8月の出会い

日時…8月1日(日)午後3時～6時

場所…あべのカーニバル「なんでも市」
[阿倍野区役所裏、市立工芸高校
グランド内]

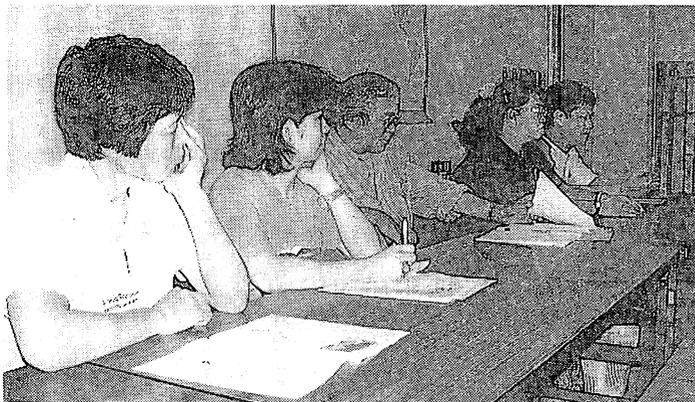
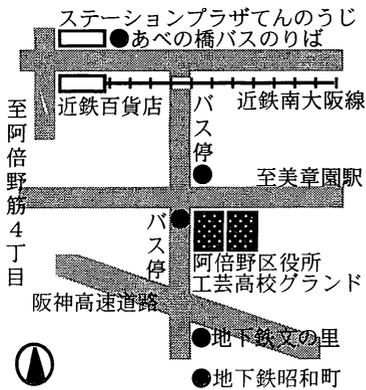
内容…「さろん亭」開店

♥みなさまの協力をお願いします。

また、当日のご来店、お待ち申し上げて
います。

お問い合わせ先

石田 律 TEL06-6622-2018
辻本 輝子 TEL06-6621-2241
富田 慶子 TEL06-6691-1028
久木 浩 TEL06-6651-4730
山村 貴司 TEL06-6691-9071



たものではないのです。あくまでも、一般の人々に向けて書かれたものです。内容から、挫折や暗さを意図的に消し去りることとで、多くの読者を掴むことに成功しています。彼にも悩みや挫折はあったはずですが、ただ、あえて書かなかったのです。

一般の人々の賞賛と、障害者団体からの批判は、つまり、その次元が違うのです。あまりにも大きなブームに、批判が生ま

れるのも当然です。しかし、「暗い」、「かわいそう」など、障害者に対するマイナスイメージを、少しでも軽減する効果はあったと思います。

彼に期待すること

これからの進路について、彼自身、白紙だと言っています。しかし、彼には障害者問題に取り組んでほしいと思います。その善し悪しは別として、彼

は既に有名人であり、その発言は、大きな影響力をもってしまいました。だからこそ、障害者と健常者の橋渡しをしてほしいのです。

頭の良さとルックス。そして、その若さを、最大限に生かしてほしいのです。これまでにいなかったタイプの障害者リーダー。あるいは、障害者問題の研究になる可能性があると思います。彼を批判することは簡単です。

しかし逆に、彼にはもっと障害者問題を、理解してもらおうべきなのです。

彼の屈託のない笑顔を見ていると、定藤先生のことが思い出されてしまいます。何年か後に、「続・五体不満足」が出版されることを望みます。

参加者 22名 (上平幸雄)

乙ちゃんブームに
思うこと
表谷恵美子

サロンを知ったのがきっかけで、私は他所でも障害を持つ人の声に耳を傾けるようになった。自分は健常者なのかと改めて感じる機会もあり、以前より交通事故や健康などに意識して注意するようになったと思う。街中の設備も気にかかる。

サロンの皆さん方は、乙武さんほど華々しくなくてもハンディにめげず、仕事やスポーツや勉強、そして子育てに精を出す前向きな人達が多い。以前、私が持っていた消極的で暗い障害者のイメージからは遠い普段、障害を持つ人と接する機会のない人達が、この度の乙武さんブームで私のように意識を変えることになるのなら良い事ではないかと思う。

だが、私の知らないところで精神力だけではどうにもならない壁を、乙武さんも含めて彼らは感じているはずだ。それは、私を持つている悩みや苦勞とは一線を画す種類のものなのだろう。私が、どんなにそのもどかしさを理解しようとしても想像の域を出る事はないのだろう。

集いの中で車椅子の女性が、自分と同じか似た部分の障害者のことは解るが、他の部分(視覚など)の事は理解するのに時間がかかるとおっしゃっていた。定藤丈弘先生もご自分がハンディを持たれて大きく変わられたと聞く。先生のような方でもそうなのだから、私みたいな凡人はなおさらである。

彼らのために何もできない自分なら、せめて良き隣人でありたいと願っている。



障害と個性
富田慶子

「障害は、個性」という言葉は、最近よく聞かれる言葉です。これは「十人十色」と同一のものなのか、ふと気になりました。そして、前者の言葉は外見を指していて、後者は性格や気性を指しているように感じました。やはり、前者と後者は違うものであつて同一ではないなと思いました。

「個性」を外見から推し量るものであれば、他から見えて異なった状態を「障害」と言つて良いのか、気になるところです。

六月のサロンで「乙武洋匡著 五体不満足」をベースに、いろいろと話が出ました。参加者それぞれが、納得されて受け止めておられたと思います。この本の内容が良い悪いの割り切れる話ではなく、この本を介

して障害者の社会参加や健常者との関わりを自由に語りあえるものだと思います。

乙武氏が自己の障害を丸ごと受け止めて堂々と胸を張って「さあ、僕を見て下さい。そして、障害を考えてください」と言っている気がしました。

障害者と健常者はどこが違うのでしょうか。人としては何んの違いもないと思います。ただ、自己の思いを起こす時に不自由が生じるだけではないでしょうか。

「あゝしたい。こうしたい」と考えたとして、それを的確な言葉と行動によって表現出来れば何の不自由もないことです。健常者はその行動を深く考えなくても実現出来る術を持っています。しかし、障害を持つ人は、その範囲が限定されています。その思いが容易に出来ない時、不自由を覚えるのではないのでしょうか。それは、身体障害を持つ人だけではなく、内的疾患を持つ人にも当てはまる事と思います。外見だけではないハンディもあれば、見たままのハンディもあるでしょう。その状態全体を把握するのは障害を持つ人も持たない人にとっても難しい事だと思います。なぜなら、そ

の時、その場の状況の中で受け止めるハンディが異なってくるからです。

障害が哀しいのではなく、固定化されたハンディがあるゆえに断定される個性がやりきれないのだと思います。健常者であれば障害を持つ人であれ、人として決められた型はないと思います。

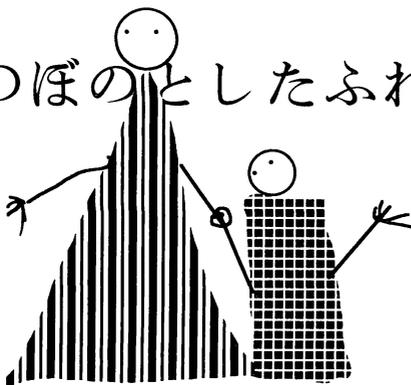
今回の事で今一度、「障害は、個性」という中味も考えてみたいものと思いました。

感謝

カンパ、はがき、切手、お茶菓子、バザー用品、冊子等の寄贈、またサロングッズのお買上げありがとうございました

- 逢沢 恂、市村祥子、磯崎章一、
- 上平幸雄、清原尚子、窪田新一、
- 猿田 博、曾根利弘、高岡正二、
- 瀧川英子、田中好一、田村昌子、
- 平岡 太、平原照子、表谷恵美子、
- ふれあいあべのスタッフ、藤井康弘、
- 山田絹代、山根匡子、和田保子、
- 倭 満也子、吉原和朗、
- その他の方々

ほのぼのとしたふれあい、いかがです。



こころ ふれあう
一筆箋
 1冊100枚綴 ¥150-

サロン・あべのの運営資金にご協力ください。

ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、
生き生きとした生活を送るために—

16

伊藤智佳子

△障害者プランの概要▽

I 障害者プランの構成

障害者プランの構成案、以下の通りである。

- I 位置づけ
- II 基本的考え方
- III 期間
- IV 推進方策
- V 地方公共団体への支援
- VI 各施策分野の推進方向

障害者プランの「II 基本的考え方」

によると、「リハビリテーション」と「ノーマライゼーション」の理念の下、次の「7つの視点から施策の重点的な推進を図る」としている。すなわち、

- 1 地域とともに生活するために、
- 2 社会的自立を促進するために、
- 3 バリアフリーかを促進するために、
- 4 生活の質（QOL）の向上を目指して、
- 5 安全な暮らしを確保するために、
- 6 心のバリアを取り除くために、
- 7 わが国にふさわしい国際協力・国際交流を、

である。そして、それぞれの視点に基づき施策推進項目が挙げられている。

【わが国におけるピア・カウンセリング

の現状から確認できたこと②

—障害者基本法、障害者基本計画、生活支援事業との関わりから③—

前号（VOL. 156）では、障害者基本

本計画の策定の背景、概要を『今』整理することの理由、障害者プラン策定の背景について整理した。今回は障害者プランの概要を、構成、性格と期間、重点施策を中心にまとめることとする。

△障害者プランの概要▽

I 障害者プランの構成

障害者プランの構成案、以下の通りである。

- I 位置づけ
- II 基本的考え方
- III 期間
- IV 推進方策
- V 地方公共団体への支援
- VI 各施策分野の推進方向

II 障害者プランの性格と期間

「I 位置づけ」には、「『障害者対策に関する新長期計画』の具体化を図るための重点施策実施計画」と記されている。

「III 期間」には、1996年度から

2002年度までの7カ年であると記されている。最終年度は「障害者対策に関する新長期計画」と同じである。今年（1999年度）から最終年度までの期間は3年間である。

III 重点施策



★ 出合い

私たちは毎日のように人と会っている。しかし、出合いと呼べるものはそう多くはない。

仕事のなかで何枚もの名刺を交換し、ひと息ついたところで、それを数えてみる。なかには、いま会ったばかりなのに顔も思い出せない名前がある。これでは人と出会ったとは言えない。

そのうち顔と名前が一致してくる。いっしょに食事をしたり、長々と話す機会も出てくるだろう。しかし、そういう知人や友人が増えたとしても、私たちはそれを、とりたてて「出合い」と呼ぶことはない。

では、何を私たちは「出合い」というのか。たぶん、それは私たちが根のところから変えられたという経験である。誰かと向かいあい、その向かいあうことで自分が変われば、それが「出合い」なのである。

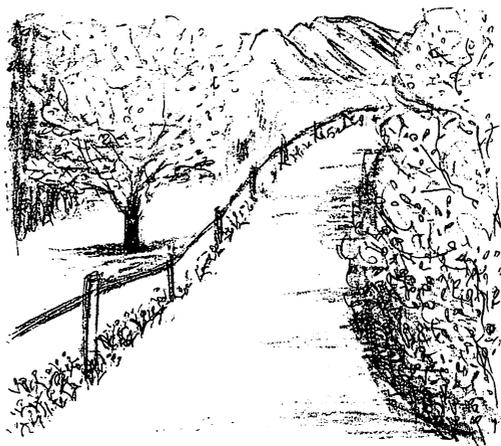
友人・知人の住所録が一行増えるごとに「出合い」があるわけではない。

知り合うことによって、自分の知識や話題が増えたり、頼れる関係が広がり、仲間の輪が大きくなっても、それは「出合い」であるとは限らない。五十人いた友人が五十一人になり、あるいは百人いた知人が百一人になっても、それは「出合い」とは呼べないかもしれない。

これまでの日常や生活の気分、未来に投げる希望や、過去を振り返るときに眼差しさえも変えてしまうのが「出合い」なのだ。つまり「出合い」は、昨日から今日を切り離すものである。

知り合いを増やすとき、私たちは、相手がどういう人なのか、あらかじめ知っている。たとえば、いろいろ親切に教えてくれる店員と知り合いになるとき、私たちは、その人が店員であり、私たちが欲しいものについてさまざまなおことを知っている人だと、すでに知っている。だから声をかける。

私自身の例をあげれば、毎年のように



に新しい学生たちと知り合う。学生たちがどのような質問をし、私に何を求め、どのような形で会話が進み、やがてどのような疎遠になるかは、これまでの経験から予想できる。妙な言い方だが、知り合う前にすでに知り合っている。この関係がおおよそわかっている。これは「出合い」ではない。

知り合うことの価値を否定するわけではない。知り合い、人間関係を深め、

友人になることは人間としての大きな喜びの一つだ。ただ、それは同じ場所に立ち、手を広げて何かをつかみ、自分のポケットを大きくすることに似ている。自分の立つ場所は変わらない。

「出会い」は、そうではなく全く予想もしなかった形で、私たちの立っている場所から私たちを引き離す。私たちの過去と現在を鋭く割いて、新しい日常をもたらしてくれる。

逆にいえば、だからこそ素晴らしい「出会い」も、最初は私たちを不安にさせる。私たちが腰を落ち着けてきた椅子から立ちあがらせ、一步も二歩も歩かせてしまう。ときには、私たち自身をどこか知らない遠くの山に連れ去ろうとする。「出会い」はそういう底知れない力をもっている。

恐れずに「出会い」を受けとめる力と柔らかさを蓄えておくことだ。「出会い」は不意にやってくる。それを、腕を広げて迎えるなら、力強く豊かな日々が私たちに現れるだろう。(知)

日本銀行券

みなさんは「日本銀行券」をご存じだろうか。お金、お札のことなんですね。

当然ながら私たちは、このお金がなければ日常生活を送ることができません。ですから誰でもお金は少しでもたくさん持ちたいと思っています。そのためみんな毎日、あくせく働いているのです。

ところで曹洞宗の開祖、道元禅師がこんなことをおっしゃっています。

「学道の人は、貧なるべし」

「学道」とは、仏道を学び修業することです。そして「貧」という字は、「貝」の上に「分」が付いていますね。「貝」とはお金のこと、「貧」とはお金

晴れのち晴れ

⑩

稲垣 恵雄

を他人に分けてあげて、自分には手持ちのないことをいい、そのことから「独占しない」ということを指します。つまりお金が欲しい人にはいくらでも分けあげてあげる。自分は必要最小限のもので足りる。だから道元禅師の言われる「貧」とは「貧乏」のことではないそうです。

今時、道元禅師のおっしゃるような奇特な人はどこを探しても見当たらないのではないでしょう。それどころか他人のお金や物を盗んだりする不心得者が目立ちます。時の流れとはいえ、実に哀しいことですね。

「金は天下の回りもの」と言われるように、蓄えておくだけでなく、日本銀行券はどんどん使うからこそ、また自分のふところにも入ってくるのだと思います。

植物あれこれ

第六回

山口康二郎

田舎ぐらし(一)
——田植え今昔——

「月に一週間は田舎生活をしたい」という気持ち年々強くなり、和歌山の南部みなべに近いところに土地を借りてあばらやを建て六年目になります。定年後は半分はここで暮らす予定でしたが、不定期な用事ができてしまい、むしろ在職の方が予定がたてやすく定期的に田舎ぐらしが出来たように思えてなりません。

さて、皆さんは「田舎ぐらし」というとどんなことを想像されますか。「豊かな自然」「田園風景」「澄んだ青空」いろいろイメージされることでしょう。私も同じようなことにあこがれていました。というのも私は四歳から十八歳まで広島県の山地で育ちましたので、昔の田舎生活を夢見ていました。

ところがかつての田舎とは様変わりを目

の前にして驚き入っている昨今です。

五月末、何とか生み出した四日間の休みを田舎で過ごすことにしました。ちょうど田植えの時期なのでぜひその様子を見たいと思っていました。

着いたその日の田んぼは掘り返えされたまゝで別に変わったことはありません。次の日久しぶりの田舎ぐらしに思いきり朝寝坊し、十時頃散歩に出ました。広大な田んぼのあちこちにポツンポツンとトラクターのような機械が入って動いていました。乗っておられるのは七十過ぎの男の人という共通点がありました。三日目は早起きし大好きな魚つりに出掛け、帰りを見ると田んぼには水が張られていました。いよいよ明日は田植えだと期待して早めに床に入り、翌朝六時に見に行きましたが、まだ人影はありません。しばらく散歩して帰って来る道で大きな音たててゆっくり動いてくる機械が一台ありました。挨拶をし「田植えを

しはりまっか」と声をかけると「へい」と返事。私はその後を歩いて行きました。その機械の上には苗がビニールの箱にいれられてどっさり乗せられていました。

機械に乗ったまゝ田んぼに入ると、そのまゝ端から苗が植えられはじめました。前進する機械の後には規則正しく苗が並んで



いく風景に、昔の田植えのイメージは微塵もありません。

私の子ども時代、田植えシーズンになると学校も「農繁休暇」でお休みになり、文字通り一家総出、いや村中の人が集まって大童おおわらわでした。「八十八の手間をかけて作るから『米』なんだよ」とおばあちゃんの言

葉を実感として受けとめた少年期がなつかしくなりました。

三十分程で一枚の田植えを終わったおじさん(後から聞くと七十四歳でした)に思わず昔の話をすると「八十八も手間かけても儲かりまへん。今は、米は農家の主な仕事ではありまへん」そういうえば田植えの最中に主婦の人達はとなりのフレームの中でせつせと仕事しておられました。のぞいてみると五月というのに真っ赤にうれたトマトや西瓜の収穫の真っ最中。

農作物は季節を半年先取りして作られ、高価格で売るのが常識になっっているようです。ナントモ ハヤ.....

好評のエッセイ!

岡知史著

- 知らされない愛について
- ほんの少しの神に近い部分

◎ どちらも・7000円

066669111028 岡田栄

さきみみずきん

モナリザの微笑み

六月末に劇団「転がるひとびと」による「モナリザの微笑み」がピア・大阪の四階ホール(主催)びあ・ふれんず観劇実行委員会)で公演されました。

演劇に縁のない私ですが、演目に魅かれて観に出かけました。簡潔な舞台で演じられたのは、数度の流産を経験した若夫婦に待望の妊娠が判明。その喜びもつかの間、出生前診断で胎児に異常がある確率が高いという結果が出た。そこで若夫婦、その親がそれぞれに胎児の処置を巡って思い悩むという、内容の重いものでした。淡々と発せられる女医の言葉に、「自分は子供

が欲しいと望んだ。この子の命がいとおいしい。だから産んで、育てたい。障害を持っていてもいなくても...」と決心するまでの母親となる妻の心の葛藤は観る側の心根も試されていくような気がしました。「産みたければ産めばよい。君の思うようにすればよい」と言った夫の言葉に鳥肌が立ちましたが、妻の出した結論に自分の思いを重ね合わせて共に誕生を待つラストにはほっとさせられました。日頃何気なく使っている言葉や、善意の忠告であっても、悩みを抱えている人には辛く哀しいものであることを改めて思いました。それにしても出生前診断は何んの為にあるのでしょうか。(け)

美智子のこんな話

岸田美智子

女性介助者大募集

私は車椅子の女性障害者です。日常生活のあらゆる場面、例えば、食事・トイレ・お風呂・着替えなど24時間の生活介助が必要です。

そんな私は今年6月までの4年間、親元や施設に保護された生活ではなく、障害者が主人公となった地域での重度障害者の生活の場であるグループホームで、施設から出て来られた二人と暮らしていました。

そしてこの7月からは、そのグループホームを出て住吉区万代東4丁目一人で暮らしを始めます。

地域での生活は、この4年間で自信がつかまりましたが、あいかわらず介助者が足りません。とくに夜7時以降翌朝8時頃までの泊まり介助や、寝る前の洗面やお風呂、トイレなどの部分的な介助(15分〜1時間半ぐらい)を手伝っていただける女性の方を募集しています。また、昼間は、同じ住吉区の長居西にある自立センター「MY DO(まいど)」で、いろいろな障害者の生活相談などの仕事をしています。

よりよい介助のあり方をいっしょに考えていきたいと思っています。興味のある方や介助に入ってもらえる方の連絡をぜひお待ちしております。

(介助経験のない方でも、こちらのスタッフが同行しますので大丈夫です。)

少しの介助料と交通費をお支払いします。

○連絡先

自立生活センター

「MY DO(まいど)」

大阪市住吉区長居西1-9-12

(キミハウス1階)

TEL・FAX 06-6609-3133

朗読グループ「ばけっと」のご協力で、
Aサロン・あべのV紙一五六号の録音テープ(六〇分)が出来ました。
朗読テープ文庫

1. Aサロン・あべのV紙は、第一号より一五六号までそろっています。(五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本)
 2. Aサロン・あべのV十周年記念誌「はあとが、はろー!」(九〇分テープ二本十一二〇分テープに収録)
 3. 絵本「未知の記憶」(作 絵 中川勝彦)
 4. 「ラジオたんば」放送『Aサロン・あべのV平成七年五月の出会い』放送分(三〇分)
 5. エッセー集「逃げたクヨナクッポランティア活動の周辺」(岡本栄一著・糸でんわ音訳)
 6. 「キミたちだけじゃ困るんだ〜身障者だけで旅した十余年〜」(山田誠1995・2・23著・糸でんわ音訳)
 7. 「金子みすゞへの旅」(島田陽子著九〇分テープ二本・糸でんわ音訳)
 8. 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著・九〇分テープ四本糸でんわ音訳)
 9. 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著・九〇分テープ五本糸でんわ音訳)
- いずれもご希望の方には、ダビング、または貸出しをしますので、富田までお申し出ください。(06-6669-2028)



サロン隣組ニュース

TEL06-6913-7070

■「サロン淀川」8月の出会い
日時；8月7日(日)午前11時30分～午後4時
場所；淀川区民センターグランド
「サロン淀川」たこ焼きコーナー
大阪市淀川区野中南2-1-5
内容；「焼いて、焼いて、たこ焼きを！」
今年も暑い日がやってきました
パネラー；宮本志津代氏
たこ焼き研究所長
会費；なし
問い合わせ先；淀川区社協 ボランティア・ビューロー
TEL06-6394-2900

■「サロンつるみ」8月の出会い
日時；8月1日(日)PM1:30～4:00
場所；大阪市立鶴見会館
[大阪市鶴見区横堤5-5-51]
テーマ；「対談：弱視のにいちゃんが
歩んできた道」
ゲスト；曾根利弘氏
脇坂博史氏
会費；なし
問い合わせ先；鶴見区社会福祉協議会
(ボランティアビューロー藤井)

■《てくてく・すみよし》8月の出会い
日時；8月8日(日)午前11時現地集合
場所；地下鉄四ツ橋線「肥後橋」駅西へ
約8分(TEL. 06-6444-5656)
内容；大阪市立科学館見学
会費；500円
(交通費・食事費、自己負担)
問い合わせ先；

TEL06-6692-8411 (山本篤江)

■第9回「出会いボランティアサロン」
日時；8月21日(土)午後6時30分～
場所；岸和田市福祉総合センター
[岸和田市野田町1-5-5
TEL0724-38-2321]
内容；「マザー・テレサ」
～そのあふれる愛の世界～
パネラー；是枝律子さん
(サンチの会代表)
参加費；無料
問い合わせ先；TEL0724-22-0686 阪井健二
(電話は午後7時以降にお願いします)

■「サロンいたみ」8月はお休みです。



アメリカからのお便り

Dear Kiko - 6-7-99
 I hope this letter finds you and your family well. How are you feeling?
 We have hot weather with rain storms. A lot of mosquitoes too.
 Jamok I have been having a lot of pain and at times its hard for me to get out of bed. Jam sorry I have not written. I have written Ma several times. I just sent him a letter the other day. I do have a package for him but I must wait until I receive more money. Postage for my overseas friends can get expensive.
 Congratulations on your daughter's second son! How exciting for you but must of been tiring also. Please take care of yourself!
 We have a cherry blossom tree in our backyard. It is very beautiful. I remember the cherry blossom trees from when I was very young, beautiful.
 School is out for summer. Jeremiah is learning to drive a car. Susan is being a normal teenager. She will be going to summer camp. Jeremiah is unable to go this summer.
 If you speak to Ma tell him Jamok and have sent a letter.
 Please write again Patti

1999年6月4日

親愛な慶子様

お元気に、この手紙を読んでいただければ幸いです。皆様、いかがお過ごしですか？ こちらでは、激しい雨と暑さが続いています。蚊にも悩まされています。

私は元気です。でも、痛みがひどく、ベッドから起きられない日もあります。そんな訳で、手紙もあまり書けないのが残念です。マーさんには、何度か手紙を書きました。先日も彼に手紙を出したところです。

それに送りたい荷物もあるんですが、もう少しお金がたまるまで待ちます。海外の友人への送料はすごく高くつくことがありますから。

二人目のお孫さんのご誕生、おめでとうございます。さぞお慶びのことでしょう。でも疲れることも多いと思います。ご自愛くださいね。

わが家の裏庭にも、桜の木があって、とてもきれいに咲きます。私の幼い頃もきれいだっただことを覚えています。

学校は夏休みに入っていて、ジェレミアは、車の運転を習っています。スーザンは、典型的な十代の娘で、サマーキャンプに行くのを楽しみにしています。ジェレミアは今年はサマーキャンプには、参加出来ません。

マーさんと話す機会があれば、私が元気なこと、そして、私が彼に手紙を書いたことをお伝えください。

お返事楽しみにしています。

パティ トラッキー
 (訳・林 正弘)

韓国からのお便り

富田慶子様

今日はとても暖かく、まるでもう夏のようなです。お元気でお過ごしですか。先月27日店から帰ってくると、家に富田様のお手紙がありました。お手紙を受け取ってほんとうにうれしかったです。もっと早く返事をすべきだったのですが、いろんな仕事でとても忙し

かったのです。そしてお手紙とサロン紙、松場作治氏の得票Newsを受け取ってほんとうに嬉しく、ありがとうございました。松場氏はいつも最善の努力をしている方だと思っています。韓国にも数年前有名な(障害者)国会議員が障害者たちのために多くの福祉法案を上程して障害者の生活を向上させました。

8/1

ねこも きて しゃくしも 買いにきて

ハザーの売り上げは<サロン・あべの>の活動
資金になります。ぜひ、買いにきてください。

さろん亭

あべのカーニバル
なんでも市通り

連絡先 富田慶子 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL 6691-1028

FROM EDITOR

編集後記

経費がかゝらないようにと、デジカメを使いだしたところ、不要なものは消せるし、紙に印刷した画質はフィルムカメラ並みの仕上がりで結構えゝやん、ということにと
ところが、これは自分で印刷したときのこと、業者に頼んで印画紙に焼き付けしてもらうと結構高いものに、ということも知りました。(石)

編集人：サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.157[1999.7.17.発行]定価¥100.
代表：山村貴司〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL 06-6691-9071
連絡先：富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX 06-6691-1028
表題：井上憲一・筆 文中イラスト：石田美禰子
郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
印刷：セルフ社〒546-0044大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスタービル2F TEL 06-6719-8212